

各位

日本化薬が開発する産業用ドローン向け緊急パラシュートシステム 「PARASAFE®」を用いた実証実験を国家戦略特区指定の養父市にて実施

日本化薬株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:涌元厚宏)は、自社で開発する産業用ドローン向け緊急パラシュートシステム「PARASAFE®」を用いた実証実験を、国家戦略特区に指定されている兵庫県養父市にて実施します。



【実施概要】

〈実証実験名〉

ドローン緊急時のパラシュート有効性検証実験

〈実施日〉

2021年10月25日(月) 10:00~12:00 本実証実験についての概要説明会(場所:養父市役所)

2021年10月26日(火) 13:00~17:00 ドローン飛行/落下を行う実証実験(場所:つるぎが丘公園グラウンド)

※10月25日の概要説明会に関しては、天候に関わらず実施。

※10月26日の実証実験に関しては、雨天の場合は10月27日の同時刻にて実施予定。

〈場所情報〉

・養父市役所:兵庫県養父市八鹿町八鹿 1675 番地(<https://goo.gl/maps/VWkqzBmjDqsWrUdW6>)

・つるぎが丘公園グラウンド:兵庫県養父市八鹿町小山 291 番地 1(<https://goo.gl/maps/G3XySm1uHho6AmX7A>)

【本実証実験実施の目的と意義】

本実証実験は、今後ドローンの活躍が見込まれる市街等を飛行中の緊急時の安全装置として、パラシュートシステムの有効性確認を行うことを目的として実施します。本実証実験によりパラシュートシステムの有効性が証明されれば、ドローン運用に安心感が生まれ、普及が促進され、新しい業界業種でのドローンの利活用が推進されることとなります。ドローン機体本体、搭載物、人命を守るための検証によって、社会におけるドローンの活躍の場をさらに広げるための実証実験でもあります。

【本実証実験の実施内容】

- ・産業用ドローン向け緊急パラシュートシステム「PARASAFE®」を搭載したドローンを飛行させ、飛行ログを用いて飛行ログの取得を行う。
- ・産業用ドローン向け緊急パラシュートシステム「PARASAFE®」を搭載したドローンを落下させ、パラシュートによって落下衝撃を緩和できる効果を確認する。

【本実証実験で使用する産業用ドローン向け緊急パラシュートシステム「PARASAFE®」について】

産業用ドローン向け緊急パラシュートシステム「PARASAFE®」とは、ドローンの落下を検知し、火工品を遠隔的に作動させることにより瞬時にパラシュートを展開し、安全にドローンを降下させる装置です。日本化薬では、エアバッグ用インフレーターやシートベルト用ガス発生装置等の自動車用安全部品の開発・製造・販売をグローバルで展開しており、そこで培った火工品技術を応用して「PARASAFE®」を開発しています。2021年12月に販売を開始する予定です。

PARASAFE®公式サイト(<https://parasafe.jp/>)。

- ・最大離陸総重量: 25kg
- ・外形寸法: $\Phi 130 \times H154\text{mm}$
- ・本体重量: 1kg
- ・パラシュート面積: 12 m²
- ・降下速度(理論値): 5m/s (25kg 吊下時)
- ・最低展開高度: 30m 以上

 **PARASAFE**



【本実証実験で使用するドローンについて】

- ・メーカー: 株式会社プロドローン(<https://www.prodrone.com/jp/>)
- ・名称: 汎用型ドローン
- ・モーター軸間: 1000mm
- ・サイズ: 700x700x410mm (PARASAFE® 含まない)
- ・サイズ: 700x700x560mm (PARASAFE® 含む)
- ・離陸重量: 9.07kg (PARASAFE® 含む)
- ・ペイロード: 2.5kg (PARASAFE® 含まない)
- ・飛行可能時間: 15分 (PARASAFE® 搭載時)



【本リリースに関するお問い合わせ先】

<PARASAFE®製品に関するお問い合わせ>

会社名: 日本化薬株式会社 セイフティシステムズ事業本部 エアロ事業推進室

TEL: 079-264-4971

<実証実験/取材に関するお問い合わせ>

会社名: 株式会社 GoFly (実証実験運営協力会社)

TEL: 03-6403-4988

<上記以外の日本化薬に関するお問い合わせ>

会社名: 日本化薬株式会社 広報 IR 部

TEL: 03-6731-5237